

教師ノート

| | |
|----------------------------|---|
| 日付 | 2012年 9月16日 |
| 単元 | 基本的教理・4 |
| テーマ | お祈りってスゴイ・1 |
| タイトル | 求め続けたら与えられる！！ |
| テキスト | マタイ 6:8-13(または 9-13) |
| 参照箇所 | マタイ 6:8-13、7:7-11、ルカ 11:9-13、ヨハネ 15:7、ヘブル 10:36、1ヨハネ 5:14 |
| 暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい) | マタイ 7:7 |
| AG 日曜学校教案参照箇所 (リンクできます) | |

□導入

お父さんやお母さんが家にいないとき、携帯があれば、困った時に電話をかけて、助けてもらうことができます。同じように祈りは神様に携帯電話をかけるようなものです。ではどんなふうに神様とお話しをしたら良いのでしょうか。

☞何人かの子供たちは、祈りがかなえられた経験を持っています。それを発表させることも一案です。祈りが特別のことではなく、日常生活であることを理解させてください。

☞ある教会の男の子は、ある日、ゲームのために貯めていたお金を教会の特別なことのために献金しました。数日後、雑誌を読んでいた時、欲しかったゲームが懸賞に出ていることをして、「神様、もし御心ならこのゲームを当ててください」とお祈りをしました。しばらくすると当選の通知が来て、賞品が届けられたのです。(実話です)

□ポイント1 神様にお祈りをしましょう

父なる神様は、私たちを子供として見て下さっています。父なる神様は、良い神様ですから、必ず私たちの祈りを聞いてくださるのです。イエス様は、天の父なる神様は「お願いする前から私たちの必要なものを知っておられるお方(マタイ 6:8)」と教えてくださいました。

そして、これが大切ですが・・・神様は「私たちを助けようとされています」そのことを信じてお祈りをしましょう。神様は「求めるものには良いものを下さるお方(マタイ 7:11)」なのです。

☞マタイ 7:11 の並行記事であるルカ 11:13 には、「求める人たちに、どうして聖霊を下さらないことがありません」と記述しています。

□ポイント2 祈りはどのようにきかれるのでしょうか

神様は「求めるものには良いものを下さるお方(マタイ 7:11)」ですから、私たちを助けようとされています。祈るとすぐにはかなえられる祈りがあります。しかし時間のかかる祈りもあるのです。ですから祈りの答えをもらうまでにはあきらめずに祈り続けることが大切です。「約束のものを手に入れるために必要なのは忍耐です(ヘブル 10:36)」と聖書も教えています。また、的外れな祈りをする時に、神様が一番良いことをされますから、私たちが願うことと違う結果になることもあるのです。

☞ある小学生の女の子は、明日学校のいく前の日、学校の上靴が見つからなくなって泣きそうになりました。お父さんが「お祈りしてごらん」と言われたので、必死にお祈りをしたら直後に、上靴が見つかりまし

た。神様は素晴らしいです。

☞「待ち続ける祈りの例」イザヤ 27:20-32には、神様のヒゼキヤへの言葉が書かれています。「アッシリアからの侵略の結果、2年間は十分な収穫に恵まれないが、3年後には豊かな祝福がある」

☞神様の願いとは違う祈り(的外れな祈り)とは何か、生徒達に発言させても良いでしょう。(人を困らせる祈り、自己中心的な祈り)そして神様が悪い祈りに対して、どのような答えられるかを考えさせると良いでしょう。

(例)ヨナ書を見ると、ヨナの願いとは違うことへと、神様が導かれたことが分かります。

□ポイント3 イエス様は祈り方を教えてくださいました

主の祈りは、祈りの模範ですが、ここでは3つを学びます。①神様をあがめ感謝の祈りをする(私たちが愛し、いつも助けてくださっている主を、ほめたたえ感謝の祈りをすることは大切です。)②毎日の必要を祈ります(私たちには毎日たくさんの必要がありますから、遠慮をせずに具体的に神様にお願いします。神様に助けてもらうことは大切です)③人をゆるす祈りをします(人をゆるして、はじめて神様の前に赦しを求め、近づくことができるのです。神様の喜ばれる心で祈ることが大切です)

☞主の祈りは、神への呼びかけで始まり、神をあがめる3つの祈りと、人間の必要を願い求める3つの祈りからなり、頌栄で終わります。

「あがめる(6:9)」…尊敬し、礼拝し、感謝し、神様のおことばに従うことです。

「日ごとの糧(6:11)」…ご飯やパンや必要のすべてを神様は心配してくださっています。

「負い目(6:12)」…当然支払うべきものを支払わないこと。罪の現実を指します。

「赦し(6:14-15)」…赦しのことが特に述べられるのは、主の祈りの中で互いに赦しあうことの必要性が特に強調されていることを示します。人を赦す心なしに自分の罪を赦し求めて神の前に出ることはできないからです。

☞注意…ここでは3つのポイントだけを触れました。主の祈りは大変内容の濃いものです。限られた時間内に、子供たちにすべて話すことは不可能です。この単元での目標は、子供たちがお祈りの素晴らしさを知り、祈ったら神様は答えてくださることを学ぶことです。主の祈りを通じて、祈りのヒントをつかんで欲しいと願っています。ですから子供たちの受け取れる分量を良く見極めて、話す量を調節し、細かい部分に入り過ぎないように、留意して下さい。「祈れば答えられる」のテーマを意識して話して下さい。

□結論 父なる神様は良い神様ですから、祈り続けたならば、かならず答えてくださいます。あきらめずに祈り続けましょう。

□適用 (聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう)

皆さんは神様にお祈りをしたことがありますか。すぐ聞かれる祈りもあれば、時間のかかる祈りもあります。どんなときも神様はあなたの祈りを聞いてくださっています。しかしもし祈ってもすぐにあきらめてしまったらどうでしょうか。神様がせっかく祈りに答えようとされていも、それに気がつかないなら、残念ですね。ですから、あきらめずに祈り続けましょう。そして神様の答えを聞きましょう。祈りはバージョンアップします。ゲームでも最新バージョンが強力ですね。イエス様は祈り方を教えてくださいました。神様のため私たちのため、最新のバージョンで祈りましょう。